

「司法書士一発合格法」の著者による 合格(うか)るやさしい勉強法2020

田端 恵子

1. 司法書士試験の内容

午前部 択一式 35問

午後部 択一式 35問, 記述式 2問 (不動産登記法・商業登記法)

午前択一・午後択一・記述すべてに基準点があり, すべての基準点をクリアし, かつ, 合格点数をクリアすれば合格する試験

年によって基準点や合格点は異なるが, 択一は8割以上・記述は6割以上の得点が求められる

試験科目と出題数 ※ () は配点

午前択一 (105点)

憲法	民法	刑法	会社法
3問	20問	3問	9問

午後択一 (105点)

民事訴訟法	民事保全法	民事執行法	司法書士法	供託法
5問	1問	1問	1問	3問

不動産登記法	商業登記法
16問	8問

主要4科目・・・民法, 不動産登記法, 会社法, 商業登記法

マイナー科目・・・民事訴訟法, 民事保全法, 民事執行法, 供託法, 司法書士法,
憲法, 刑法

記述 (70点)

不動産登記法	商業登記法
1問	1問

近年の基準点および合格点

年度	基準点			基準点合計	合格点	必要な 上乘せ点
	午前	午後	記述			
30	78 (26問)	72 (24問)	37.0	187.0	212.5	25.5
29	75 (25問)	72 (24問)	34.0	181.0	207.0	26.0
28	75 (25問)	72 (24問)	30.5	177.5	200.5	23.0
27	90 (30問)	72 (24問)	36.5	198.5	218.0	19.5
26	78 (26問)	72 (24問)	37.5	187.5	207.0	19.5

2. なぜ挫折してしまうのか？

勉強の流れ

①講義を受ける
②①に該当する過去問を解く
③テキストに戻って復習する

※最初の1周以降は②→③が原則，必要に応じて①講義を再度聴く

①講義

- ・消化不良
- ・モチベーションを維持できない
- ・苦手なところだけ聴けない

②過去問

- ・探せない
- ・解けない
- ・繰り返せない，非効率的な繰り返し

③学習スケジュール

3. なぜパーフェクトユニットがやさしいのか？

①講義を受ける

通常の講座	パーフェクトユニット方式
約3時間の講義。集中力が続かない。 民法第〇〇回というくりしかないので、 1回で進む範囲が明確でない。中途半端な ところで終わることもある。	すべての講義が1回で完結するユニット 制。1時間なら集中できるし仕事と両立で きる。講義すべてのテーマが決まっている ので、中途半端なページで終わることがな く、達成感も得られ、やる気が持続する。

②過去問を解く

通常の講座	パーフェクトユニット方式
解くべき過去問が指定されていない場合、 自力で該当過去問を探るところから始めな ければならず、解くまでに時間がかかる。 5肢掲載の問題集を使った場合、まだ勉強 していない範囲の肢も混じっており、解く ことができない。	テキストと過去問は完全リンク。肢別過去 問集はテキストの過去問掲載欄と出てくる 順まで基本的に統一し、該当ページを探す 手間を解消。 また、復習講義の中で同一論点の過去問も 伝えるので、理解できている過去問を少な く、理解できていない過去問を沢山解き、 知識のムラをなくす勉強ができる。

③復習

通常の講座	パーフェクトユニット方式
過去問を解いても、どのように復習すれば いいかわからない。テキストのどのページ に載っていた論点なのか？正解しなければ まずい問題なのか？がわからず、復習に時 間がかかる。	全ユニットに約30分の復習フォロー講義 を提供。一緒に復習する中で、肢の論点の ポイントを話し、復習を完了。該当ページ を長時間かけて一人で探す・論点のポイン トを掴めないまま復習に何時間もかけると いうムダを解消。

④学習スケジュール

通常の講座	パーフェクトユニット方式
講義についていくので精一杯で、気がつけば何か月も放置している科目が発生。 いざ2周目の勉強を始めても、わからない論点を講義のどの回で話していたかわからず、勉強が進まない。	1日1ユニットだから、受講で精一杯にならない。休みの日などを利用して2周目以降の勉強にすぐ手をつけられる。 1ユニットごとにテーマが決まっているので、わからない論点だけ講義を聴き直せる。

⑤記述の勉強

通常の講座	パーフェクトユニット方式
基礎講座の場合、記述対策の講義がないor本試験合格レベルには程遠いオマケ的な演習のみで終わることが多い。 上記の状態いきなり本試験並みの問題（ex. 模試）を解いても全く解けない。	択一講義の後は、記述対策30ユニット各30問。初学者でも解けるように予習講義も実施。担当講師の著書であるパーフェクトユニット記述問題集を使い、一気に本試験合格レベルへ。

4. 講座選びのルール

①講座か独学か？

独学の場合、負担となる作業は増える（テキストと過去問のリンク、法改正情報への対応等）。また、疑問点を質問する相手がないので、理解に時間がかかる可能性もある。講座受講には費用がかかるが、これらの負担がないものであれば価値がある。

②通学か通信か？

自分に合った環境を用意する。

③合格できる『かつ』消化できるカリキュラムか？

方法論も大事だが、「そもそも合格できるカリキュラムか？」「毎日続けられるカリキュラムか？」もすごく大事。ご自身の生活に組み込むことができるカリキュラムか検討する。

④予備校でなく講師で選ぶ

講師の講義動画を見る。合わない講師を選ぶと挫折の原因となる。

⑤口コミを探すより自分で見る

口コミしてる人は自分とは違う他人

その講師・講座で大丈夫？講座 check シート

項目	Check
・好きと思えそうな講師か？	
・聞き取りやすい声か？聞き取れる早さで話しているか？	
・「ココおさえといて下さい」「ココ覚えて下さい」を連発していないか？	
・テキストを棒読みしているだけではないか？	
・楽しそうに話しているか？	
<p>・予備校で共通のテキストを使用していないか？</p> <p>→共通のテキストの場合、追加レジュメなどの配布・板書が多くなる可能性もある。他人が作ったテキストで講義をするのは大変だから。</p>	
<p>・講師のブログ・SNSの文章はわかりやすいか？</p> <p>→わかりにくいなら、講義も下手である可能性が高い。わかりにくいことをわかりやすくするのが講師の仕事。</p>	
<p>・講師に直接質問できる制度はあるか？</p> <p>e x. メール、講座ブログ、質問フォーム</p>	

田端恵子

平成24年 宅建士試験合格（受験回数1回），年末から司法書士試験の勉強開始

平成26年 司法書士試験合格（受験回数1回）

平成27年 司法書士登録，簡裁代理等関係業務認定

平成28年 司法書士試験受験指導開始

平成30年7月～ 「パーフェクトユニット方式一発合格田端基礎講座」

担当講座	パーフェクトユニット方式 一発合格田端基礎講座
著書	『パーフェクトユニット方式 田端恵子の記述問題集 必修問題30』 ①不動産登記法 ②商業登記法 『だからあなたを合格（うか）らせたい！司法書士一発合格法』 （すばる舎）
ブログ	「田端恵子 official」 http://keikopass.com/
Twitter	田端恵子（司法書士/辰巳専任講師） @tabata_keiko https://twitter.com/tabata_keiko

【MEMO】